

令和5年国立市議会第2回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第2回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、くにたち未来共創拠点矢川プラスについてですが、議員及び地域住民の皆様のご理解・ご協力の下、3月のプレオープン期間を経て、4月1日に複合公共施設として開業いたしました。

施設の指定管理者である社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団と共に、4月8日にはオープニングセレモニーを開催し、市議会議員の皆様を始め、国会議員、都議会議員、国立市観光大使である三浦祐太郎氏のほか、多くの方にお越しいただきました。

また、翌4月9日には、矢川プラスのモデルの一つでもある「川崎子ども夢パーク」を取材したドキュメンタリー映画「ゆめパのじかん」の上映会を開催しました。当日は夢パークで館長を務められていた西野博之^{ひろゆき}氏にお越しいただき、子どもたちの居場所の在り方についてご講演いただきました。

開業以来、4月から5月末までの来館者数は延べ60,482人、

1日平均992人で、子どもたちを中心に多くの方が施設に訪れ、館内は子どもたちの元気な声であふれております。また、事業団及び矢川児童館による企画や、市主催の「いきいき100歳体操」を始め、大学生による子ども向けの体験事業、商店会によるお祭り、市民主催のフリーマーケットが実施されるなど、多様な主体による様々な企画が催されており、この数年間失われていた地域の賑わいが、矢川プラスを中心に生まれ始めています。

今後、市と事業団を中心に、本施設が「まちなかの大きな家と庭」として、より市民の皆様が親しまれるよう様々な取組を実践していくとともに、市民の皆様とともにこの施設をより良いものに育ててまいりたいと考えております。

それでは、3月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

TOKYOレインボープライド2023についてですが、4月22日、23日に代々木公園で開催され、国立市と連携事業を組む多摩地域10市が合同でブース出展をいたしました。

当日は、10代・20代の若年当事者への居場所支援をテーマ

に、パネル展示やワークショップ、アンケートを行い、2日間で約1,600名の方がブースに足を運んでいただきました。

私も4月23日に会場に行き、LGBTQに関する取組を推進する団体や企業の取組を学ばせていただくとともに、自治体にさらなる取組を求める声をいただき、改めて人権の問題であることを強く認識いたしました。

なお、これに関連して、4月24日に国に対し、セクシュアル・マイノリティに関する「差別の解消」や「婚姻の平等」への法整備について要望をさせていただきました。

国立市としても引き続きLGBTQに関する取組を推進し、当事者の人権を守る取り組みを進めてまいります。

次に、行政管理部関係です。

大雨への対応についてですが、6月2日から3日にかけて、台風2号の接近及び線状降水帯の発生に伴い、各地で被害がもたらされました。被災されました皆様に、心より御見舞いを申し上げます。

国立市におきましても、市内警戒活動を実施し、6月3日午前0時11分に大雨（土砂災害）警報が発令されたため、土砂災害警戒区域に近い、青柳福祉センター及び一本松公会堂の2か所に避難所を開設いたしました。幸い、土砂災害等が発

生することはなく、避難所に避難する方もいらっしゃいませんでした。

一方、大雨によって多摩川が増水し、それにより府中用水導流路の堤防が決壊してしまいました。このため、現在府中用水への取水ができず、田植えが行えない状況となっているため、府中用水土地改良区や東京都と連携・連絡を取りながら早期の復旧に努めてまいります。

大雨、台風の発生する時期となりますが、関係機関とも連携を取りながら対応してまいります。

次に、健康福祉部関係です。

「国立市手話言語条例」の進捗状況についてですが、条例素案に関して4月22日に市民説明会を開催するとともに、4月17日から5月8日にかけてパブリックコメントを実施しました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の福祉保険委員会に報告させていただきます。

次に、女性の健康習慣に関するイベントについてですが、3月5日に健康づくりに関する連携協定提携企業である明治安田生命保険相互会社立川支社のご協力の下、国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザにて「からだところの相談室」

及び「ベジチェック測定会」を開催しました。また、市内の子宮がん検診委託医療機関の婦人科医師による女性の健康づくりを応援するメッセージ動画を作成し配信しました。

次に、帯状疱疹ワクチン接種についてですが、50歳以上の市民を対象とする、帯状疱疹ワクチンの接種料金の助成制度を6月1日から開始いたしました。引き続き、接種を希望される方が少しでも接種しやすい環境を整えてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応についてですが、5月8日から感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したことを受け、国立市健康危機管理対策本部の設置を解き、急激に増加した自宅療養者に対応するため令和3（2021）年8月に設置した新型コロナウイルス感染症自宅療養支援室も5月7日をもって廃止いたしました。

自宅療養支援室においては、患者情報を東京都と共有し、医療面では国立市医師会、歯科医師会、薬剤師会及び市内訪問看護ステーションに、生活物資の面では市内スーパーマーケットにご協力をいただくとともに、全庁的な協力体制により対応してまいりました。また、令和4（2022）年4月からは、非常勤特別職の在宅療養専門指導医を設置し、市の感染症対

策についてもご指導を頂いてまいりました。さらに、令和4
(2022)年11月からは、国立市薬剤師会のご協力の下、心配
な症状のある方に抗原検査キットの配布、パルスオキシメー
ターの貸出しを行いました。

これまでご理解、ご協力及びご尽力をいただきました皆様
にこの場をお借りいたしまして深く御礼申し上げます。

なお、今後の感染症対策については、状況に応じて必要な
措置を講ずるとともに、これまでの新型コロナウイルス感染
症に対する市の取組を検証し、次への備えとして記録に残し
てまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

幼稚園フェアの開催についてですが、未就学児童の保護者
に対して、各園の教育方針や取組の紹介を行い、入園に関す
る情報などを事前に提供することにより、保護者の幼児教育
への理解と入園希望者の拡大を目的として、市内私立幼稚園、
認定こども園が一堂に会して、5月20日に国立駅前くにた
ち・こくぶんじ市民プラザにおいて開催しました。

当日は、保護者や子どもを合わせて総数80名を超える参加
があり、各施設でパネルや端末を使った写真展示やパンフレ
ットなどを活用して、保護者の方々の様々な質問等にお答え

いただきました。

なお、第2回幼稚園フェアを、6月10日にくにたち未来共創拠点矢川プラスにおいて開催する予定となっております。

次に、生活環境部関係です。

第46回くにたちさくらフェスティバルについてですが、4月1日から2日にかけて谷保第三公園で開催されました。当日は、はしご車やミニSLの試乗体験、各種団体による出店や企画のほか、特設舞台では歌やダンスなどが披露され、延べ約19,000人の来場者がありました。

次に、LINKくにたち2023についてですが、5月14日に大学通りでのスポーツ参加・体験イベントとして、3時間耐久リレーマラソンや各種スポーツ体験コーナー等を実施しました。特設舞台では、市内の中学・高校・大学などによる合唱、吹奏楽の演奏やダンスの披露なども行われました。

また、商工会青年部による市内商店の出店ゾーンなどもあり、市民の方はもとより、市外からも多くの方が訪れ、約5,000人の来場者がありました。

次に、エストニア大使館訪問スタディバスツアーの実施に

ついてですが、市内に在住、在学の中学生・高校生の国際理解を深めることを趣旨として、3月28日に駐日エストニア共和国大使館への訪問学習事業を実施しました。当日は計15名の中高生が参加し、企画、運営に当たっては、日本・エストニア友好協会からの多大なご協力を頂き、貴重な学びの場となりました。

次に、「国立市ゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップ」の策定についてですが、国立市の現状を分析した上で、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けた方向性や目標を検討したもので、建設環境委員会、国立市環境審議会及びパブリックコメント等の意見も踏まえ、3月に策定しました。今後、このロードマップをもとに、ゼロカーボンシティの実現に向けた地球温暖化対策実行計画の策定を進めてまいります。

次に、循環型社会形成の実現に向けた取組についてですが、家庭から出された使用済みプラスチック容器ボトルを新たに再生させる「ボトルtoボトル」水平リサイクル事業に取り組むことができるよう、4月1日付けでユニリーバ・ジャパン・サービス株式会社と国立市において協定を締結し、事業を開始しました。

なお、本事業の実施に当たりましては、花王株式会社、ライオン株式会社、P&Gジャパン合同会社の皆様にもご協力をいただいております。

引き続き、SDGsの観点で循環型社会の形成に貢献できるよう取り組んでまいります。

次に、都市整備部関係です。

マンション管理適正化事業についてですが、市では、4月1日から、国立市マンション管理適正化推進計画を施行し、同日付けでマンション管理計画の認定制度を開始しました。これにより、マンションの管理計画が一定の基準を満たす場合に、適切な管理計画を持つマンションとして、市が認定をしております。

次に、用途地域等の変更についてですが、東京都の区域区分の変更に合わせて、4月28日に市内8箇所の用途地域等の変更と、その変更に伴う四軒在家地区地区計画の変更について、決定告示を行いました。これにより、基盤整備の状況に応じた土地利用が可能になるものと考えます。

なお、本定例会に関連する条例案を提案させていただいておりますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

次に、教育委員会関係です。

国立第二小学校の改築についてですが、3月24日に市議会のご承認をいただき工事請負契約を締結し、準備を進め、4月24日に新校舎建設等の工事に着手いたしました。

今後とも地域とともにある学校となるよう、学校関係者、保護者、地域の方々、工事関係者等と協力し、改築を進めてまいります。

なお、労務単価の上昇に対応するため、本定例会に関連する補正予算案を提案させていただいておりますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

終わりに、本定例会には、令和5年度国立市一般会計補正予算案等13議案、報告事項等4件を提出させていただいておりますが、国立市監査委員選任の同意についての人事案件等11件の人事案件につきましては準備が整い次第追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和5年（2023年）6月6日

国立市長 永見 理夫